

事務事業名 つくしちゃん積極活用事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：1724

施策：	25	市民との情報共有の推進	財務コード	--
基本事業：	02	市の魅力の発信	担当部	企画政策部
基本事業の成果指標	市公式ホームページ（魅力発信に関するページ）アクセス件数 この1年間で友人・知人に筑紫野市の良さを伝えたことがある市民の割合 メディアでの報道件数		担当課	秘書広報課
			担当係	広報広聴担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成27年度 ~ 令和06年度		新規・継続	継続	会計区分		実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
市内外住民			<ul style="list-style-type: none"> 市のマスコットキャラクター「つくしちゃん」を活用し、市の認知度の向上をめざします。 SNSや市のホームページ（魅力発信に関するページ）、新聞、テレビなどあらゆる媒体を用いて、市の魅力を積極的に発信します。 							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
市の魅力を発信し、市民の定住意識の向上を図るとともに、移住の促進や観光入込客の誘致が促されています。										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標	
着ぐるみの貸し出し回数		回	33	56	0	0			60	
「つくしちゃん」の認知度（市民アンケート）		%	89.7	91	0	0			94.3	
5. コスト										
事業費		計	千円	31	3,771	0				
		国	千円	0	0	0				
		県	千円	0	861	0				
		地方債	千円	0	0	0				
		その他	千円	0	0	0				
一般		千円	31	2,910	0					
正職員人工数		人工	0.3	1.5						
正職員人件費		千円	2,345	12,035						
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	2,376	15,806	0					
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている	イベントの復活等により、着ぐるみの機数も増えたため、貸出回数が23回増加した。									
どちらかといえばあがっている	「つくしちゃん」の認知度について、まちづくりアンケートで平成30年度から質問項目を設けており、令和6年度は「イラストも愛称も知っている」60.9%、「イラストだけ知っている」24.1%、「愛称だけ知っている」60.%となっている。									
あがっていない（停滞・低下）										
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	【状況】 イベントの再開や新規イベントの開始などに伴い、大幅に貸し出し回数が増え、認知度も順調に上がっている。 【課題】 リニューアルしたことで着ぐるみが1体しかない期間が長く、貸し出しに制限がかかっている。						
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地あり							
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	あり							
成果向上余地	大きい									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
令和6年度につくしちゃんのリニューアルを行い、それに伴う周知、活用ツールの拡大により、認知度向上を図る。また、つくしちゃんを活用したシティプロモーションを行うことで、市民の郷土愛を深め、筑紫野市の認知度を高める。										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						備考・特記事項 or 進行管理欄				
本事業は令和7年度より「シティプロモーション事業」へ統合する。										